

令和6年度 環境省における優良事業改善事例の取組状況について

1. 優良事例として選定した行政事業レビューシート

	事業名	事業の内容	改善点の概要	選定理由
1	国際協調による化学物質対策事業	- ストックホルム条約に関連した、対象物質の汚染実態調査、締約国会合への対応、東アジア地域におけるモニタリングの実施。 - 水俣条約に関連した、水銀汚染防止法の施行、締約国会合への対応、水銀対策技術の国際展開の実施。 - 化学物質の適正管理を促進するための国際枠組み等の検討への貢献、国内の対応の検討、GHS（化学品の分類及び表示に関する世界調和システム）に基づく化学物質の分類の実施。	昨年度シートではアクティビティ①の長期アウトカムが定性的であったが、本年度は指標を見直し、定量的なアウトカムを設定した。	予算の主要な事業であるストックホルム条約対応及び水俣条約対応について、アクティビティ・アウトカム等が適切に設定されている点を評価。
2	地球環境戦略研究機関拠出金	アジア太平洋地域随一の国際的環境政策研究機関として発足した（公財）地球環境研究戦略機関に対し、拠出金によりその活動を支援するもの。	長期アウトカムについて、成果指標と整合するように成果目標を見直すことで、拠出先の国際的研究機関に期待する成果が明確になった。	国際会議の主催・運営、他の国際機関との関係構築、研究成果・政策提言による政策形成への寄与という、国際的研究機関としての役割を適切に評価するための段階的なアウトカムが明確に示されている点を評価。
3	革新的な省CO2型環境衛生技術等の実用化加速のための実証事業（一部総務省連携事業）	空調分野と水処理分野に対して、安全・安心な衛生環境創出、消費電力最適化及びエネルギー削減の実証・実用加速を行うため、「高出力な深紫外線LEDの実証・実用化加速」及び「水処理分野・空調分野における消費電力最適化、エネルギー削減実証・実用化加速」を実施。	アウトプットの指標（活動指標）の記載を見直すことで、本事業による活動内容及び短期アウトカムへのつながりが明確になった。	実証後の社会実装（事業化）の進展、それに伴うCO2削減量の増加、普及拡大に伴うCO2削減コストの低減という、エネルギー対策特別会計を活用した脱炭素技術・システムの実証事業が目指すべき方向について、明確にアウトカムに位置付けられている点を評価。

2. 優良事例の選定プロセス

環境省の行政事業レビュー推進チームの下に設置したタスクフォースで抽出したレビューシートを確認し、確認結果を踏まえて改善が図られた事例の中から行政事業レビュー推進チーム統括責任者（大臣官房長）が優良事例を選定した。

3. 優良事例の横展開の方法

省内全部局の幹部職員が出席する会議において優良事業改善事例を共有するとともに、イントラネットに掲載し、省内全体へ横展開を行った。